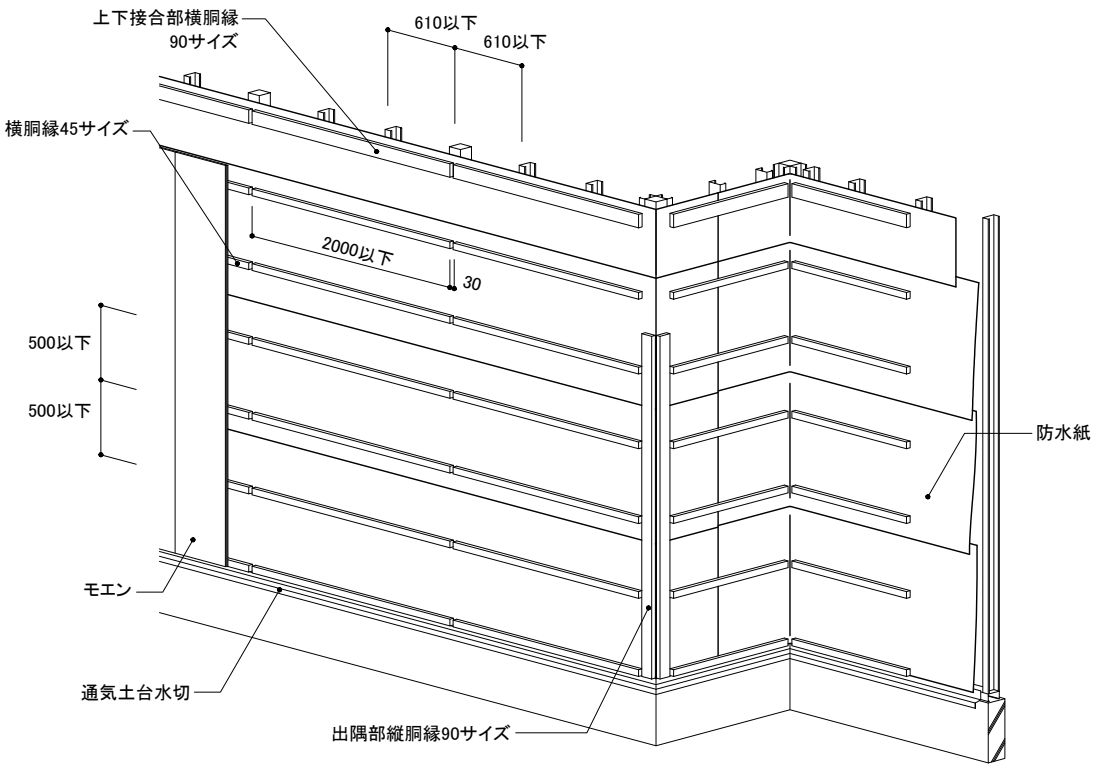
# 3－4　各部の納まり詳細図

| 鉄骨下地 | 縦張り | 釘打ち施工<br>（木胴縁下地） |
|---|---|---|

| 1）基本構成図・下地組図 | 1．5尺×10尺、3尺×10尺 |
|---|---|

●通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●C形鋼は75×45～100×50㎜、厚み1．6～2．3㎜を610㎜以下の間隔で縦に組みます。
●C形鋼と直交させるように500㎜以下の間隔で厚み33㎜以上の木胴縁を入れ、ビスでC形鋼に留め付けます。（胴縁留付ビス：ステンレステクスネジφ5㎜以上×60㎜以上）
●下地組みは、必ず通気ができるように2000㎜以下の間隔で30㎜程度の隙間を設けます。
●横胴縁と開口部まわりの胴縁は30㎜程度の隙間を設け、通気する構造とします。
●出隅部、入隅部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、木胴縁が留め付けられるようにします。
●C形鋼の下地組みにビスでモエンを直張りする施工は、絶対に行わないでください。
●モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分に専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。
※準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形胴縁の厚みは、2．3㎜とします。




小口処理　モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭　釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。